

2016 年度名古屋学芸大学健康・栄養研究所 研究・実践報告

■研究・実践の課題（テーマ）

実務者のための栄養管理プロセス研修会

■主任研究者 塚原丘美

■共同研究者 立花詠子、畠山桂吾

■研究・実践の目的、方法、結果、考察や提案等の概要

【目的】

2014 年度と 2015 年度の 2 年間にわたり、キーパーソンになるような病院栄養士を育成するために、臨床栄養分野の研究活動を始めるきっかけ作りを目的として「実務者のための栄養管理プロセス研修会（臨床栄養分野）」を開催した。研究成果をまとめるにあたって、どの実務者もデータの整理・統計処理が難所であった。また、多くの実務者が統計処理について学習する機会を望んでいる。そこで、本年度の研修会は臨床研究・統計処理をテーマに行なった。

【方法】

対象：病院栄養士として実務を行っている卒業生 16 名（うち 1 名は研究員）

日時：2017 年 2 月 26 日（日）

会場：ウインクあいち 1110 会議室

当日のプログラム：

10:00 – 11:00 講義「臨床研究を始めるにまえに」

11:00 – 11:40 講義「統計入門のその前に」

11:40 – 13:00 昼休憩

13:00 – 15:00 演習「統計入門 – EZR を使ってみよう！ –」

15:00 – 15:15 休憩

15:15 – 16:45 演習「統計入門 – EZR を使ってみよう！ –」

16:45 – 17:00 総評・まとめ

無料統計ソフト EZR をダウンロードしたパソコンを持ちより、与えられたエクセルのデータより、簡単な統計解析の演習を行なった。参加者の研究歴に差があったために、「とてもためになり、大いに活用できる」から「統計の基礎を教えてほしい」と感想に差があり、今後はレベルを細分して研修会を行う必要がある。